

施策評価シート

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進	体系番号	0201020301
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

現状と課題	茅野市には、公民館、博物館、図書館、美術館、劇場、音楽堂等の「文化芸術活動を推進する施設」が多くあり、多くの市民に活用され、活動も活発に行われています。あらゆる市民が様々なライフステージにおいて日常的に多様な文化芸術活動を楽しみ、表現し、創造することにより、充実した生活を送ることができるよう、機会の充実や情報を入手しやすい環境の整備が必要です。また、市民による自主的で創造的な活動をより行いやすく、継続した活動ができる環境を整えるとともに、活動を支える協働の仕組みづくりが重要となっています。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	誰もが日常的に文化芸術に接し、個々の自由な発想による独創性を重視した創造活動の充実を図り、多様な文化の創造を推進します。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	
				2027年度目標値	2027年度目標値
①	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書館)の利用者数	(人)	148,734	150,000	158,000
②	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書館)を利用したことのある市民の割合	(%)	78.30	80.00	85.00
③					

施策の柱 1	名称	文化芸術に関する情報の収集と発信		主管課	生涯学習課・中央公民館		
	詳細	文化芸術に関する情報の収集と発信一元化や相談窓口の整備を図り、市民が文化芸術と出会う環境づくりを進めます。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	公民館報発行回数	(回)	12	12	1 公民館報発行事業	実施
					12	2 市民館の管理運営事業	実施
	2					3 文化芸術総合サイト・相談窓口の整備	検討中
						4	
	3					5	
						6	
	基本政策間連携						

施策の体系	名称	鑑賞機会の充実		主管課	生涯学習課		
	詳細	文化芸術に親しむきっかけづくりとして身近な鑑賞の機会の充実を図るとともに、文化施設、文化芸術団体、NPO、事業者等が連携し、様々な鑑賞事業を展開します。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	芸術鑑賞講座鑑賞率	鑑賞者数/対象者数×100(%)	98.00	100.00	1 青少年のための優良芸術鑑賞講座	実施
					100.00	2 ファミリー演劇鑑賞事業	実施
	2	ファミリー演劇鑑賞者(チケット購入者)数	(人)	358	560	3 市民館の管理運営事業	実施
					560	4	
	3					5	
						6	
	基本政策間連携						

施策の柱 3	名称	文化芸術活動の拠点整備		主管課	生涯学習課・中央公民館		
	詳細	高齢者・障害者・幼児等すべての人にやさしく使いやすい施設に整備するとともに、鑑賞、練習、発表の場の拡充を図ります。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書館)の利用者数	(人)	148,734	150,000	1 市民館の管理運営事業	実施
					158,000	2 公民館施設管理事業	実施
	2	中央公民館の利用者数	※ロビー展・芸術祭等の不特定来館者数は未把握のため含まず。出前講座人員含まず。(人)	45,353	48,000	3	
					50,000	4	
	3					5	
						6	
	基本政策間連携						

施策評価シート

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進	体系番号	0201020301
		主管課	生涯学習課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の柱 4	名称	市民の自主的な活動の推進			主管課	生涯学習課・中央公民館	
	詳細	文化芸術活動を行う個人、団体等の協力・連携体制を整備し、市民が様々なライフステージにおいて幅広く活動できる場と機会の充実を図ります。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数 (人)	148,734	150,000 158,000	1 市民館の管理運営事業	実施	
	2	音楽祭・芸能祭参加団体数 (団体)	56	60 65	2 芸術祭等開催事業	実施	
	3	芸術祭(作品展示)出品点数 (点)	758	900 1,000	3 公民館講座事業	実施	
					4		
					5		
					6		
		基本政策間連携					
施策の柱 5	名称	発表機会の充実			主管課	生涯学習課・中央公民館	
	詳細	多様な文化芸術の発表の場を設け、市民の創作や表現活動の促進と交流を図ります。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	音楽祭・芸能祭参加団体数 (団体)	56	60 65	1 芸術祭等事業	実施	
	2	芸術祭(作品展示)出品点数 (点)	758	900 1,000	2 地区公民館事業	実施	
	3	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数 (人)	148,734	150,000 158,000	3 市民館の管理運営事業	実施	
					4		
					5		
					6		
		基本政策間連携					
施策の柱 6	名称				主管課		
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1				1		
	2				2		
	3				3		
					4		
					5		
					6		
		基本政策間連携					

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進	体系番号	0201020301
		主管課	生涯学習課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数	148,734	171,331	141,677	48,257	55,375	91,120
		150,000	114.22	94.45	32.17	36.92	60.75
変動要因等	2018年度	平成26年度から14万人台で推移していたが平成30年度は過去最高の17万人を超えとなった。市制60周年記念事業として著名なアーティストの公演、美術展を開催したことにより、今まで足を運んだことのない新たな利用者を獲得した。					
	2019年度	年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業の多くが延期・中止となり利用者数の伸びがなかった。この影響は翌年度も続くと考えられる。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として4月、5月が臨時閉館となったことに加え、6月以降も収容人数の制限等感染防止対策をとりながらの開館となったため、貸館事業及び主催事業は大きな影響を受け、利用者数は大幅に減少した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は例年の1/3程度にとどまったが、これまでに得たノウハウを活かし様々な試みにより前年度よりは微増した。					
	2022年度	コロナ禍ではあるが利用者は回復傾向にある。					
施策	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)を利用したことのある市民の割合	78.30	-	-	80.90	-	-
		80.00	-	-	101.13	-	-
変動要因等	2018年度	市民館アンケートによる。指定管理3年目に当たる年に実施し、(前回平成27年度)次回は令和2年度(2020年度)。					
	2019年度	市民館アンケートによる。指定管理3年目に当たる年に実施し、(前回平成27年度)次回は令和2年度(2020年度)。					
	2020年度	78歳から13歳までの市民2000人を無作為抽出し市民館を利用したことがあるかアンケートした結果全体の80%があると回答した。前回のアンケートより増加した。					
	2021年度	市民館アンケートによる。指定管理3年目に当たる年に実施し、(前回令和2年度)次回は令和7年度(2025年度)。					
	2022年度	市民館アンケートによる。指定管理3年目に当たる年に実施し、(前回令和2年度)次回は令和7年度(2025年度)。					
柱1	公民館報発行回数	12	12	12	12	12	12
		12	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
変動要因等	2018年度	月1回、年12回発行。					
	2019年度	月1回、年12回発行。					
	2020年度	月1回、年12回発行。頁数は減。					
	2021年度	月1回、年12回発行。頁数は減。					
	2022年度	月1回、年12回発行。頁数は前年度比増。					
柱2	優良芸術鑑賞鑑賞率	98.00	98.00	97.00	-	-	94.00
		100.00	98.00	97.00	-	-	94.00
変動要因等	2018年度	学校行事(中級鑑賞教室)としても位置づけられるため、当日の欠席者を除くほぼ全員が鑑賞。					
	2019年度	学校行事(中級鑑賞教室)としても位置づけられるため、当日の欠席者を除くほぼ全員が鑑賞。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として鑑賞講座は中止となった。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として鑑賞講座は中止となり、事業計画がなかった。					
	2022年度	学校行事(中級鑑賞教室)としても位置づけられるため、当日の欠席者以外は鑑賞している。					
柱2	ファミリー演劇鑑賞者(チケット購入者)数	358	478	584	-	-	-
		560	85.36	104.29	-	-	-
変動要因等	2018年度	平成29年度はターゲットの中心を園児、低学年の児童として鑑賞者数が伸び悩んだため、平成30年度は園児から高学年の児童まで幅広く楽しめる演目を選定し、120名の増加となった。					
	2019年度	子どもたちに人気のあるミュージカル公演の上、ワークショップの実施により出演者の家族が多数鑑賞したため、例年に比べ鑑賞者数が伸びたと考えられる。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として演劇鑑賞は中止となった。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として演劇鑑賞は中止。事業自体は今年度で休止となるが、今年度できなかった演目については茅野市民館主催事業として来年度実施予定。					
	2022年度	休止。					
柱3	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数	148,734	171,331	141,677	48,257	55,375	91,120
		150,000	114.22	94.45	32.17	36.92	60.75
変動要因等	2018年度	平成26年度から14万人台で推移していたが平成30年度は過去最高の17万人を超えとなった。市制60周年記念事業として著名なアーティストの公演、美術展を開催したことにより、今まで足を運んだことのない新たな利用者を獲得した。					
	2019年度	年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業が延期・中止となり利用者数の伸びがなかった。この影響は翌年度も続くと考えられる。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として4月、5月が臨時閉館となったことに加え、6月以降も収容人数の制限等感染防止対策をとりながらの開館となったため、貸館事業及び主催事業は大きな影響を受け、利用者数は大幅に減少した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は例年の1/3程度にとどまったが、これまでに得たノウハウを活かし様々な試みにより前年度よりは微増した。					
	2022年度	コロナ禍ではあるが利用者は回復傾向にある。					

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進	体系番号	0201020301
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱3 2	中央公民館の利用者数	45,353	49,612	43,703	27,539	23,881	31,376
		48,000	103.36	91.05	57.37	49.75	65.37
変動要因等	2018年度	平成21年度以降横ばい傾向であったが、平成30年度は団体利用増等により大きく増加。利用団体の高齢化、固定化が課題であるが、活動拠点施設としてのニーズは一定数ある。					
	2019年度	年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業の多くが延期・中止となり利用者数の伸びがなかった。この影響は翌年度も続くと考えられる。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、4月4日午後～5月17日を完全休館、5月18日～31日まで貸館事業を自粛した他、感染状況によって主催講座等を中止したことから、利用が減少したと考えられる。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、感染警戒レベルにより、定員・活動内容等の制限を行った。また、災害及びコロナ対策により9月に休館したことなどにより、昨年度に続き利用者数の減となった。					
	2022年度	新型コロナウイルス感染症対策を行い、貸館制限を緩和して、開館することができた。そのため、前年度比では利用者数が増加したが、団体活動の自粛も続いており、コロナ前の水準には戻っていない。					
柱4 1	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数	148,734	171,331	141,677	48,257	55,375	91,120
		150,000	114.22	94.45	32.17	36.92	60.75
変動要因等	2018年度	平成26年度から14万人台で推移していたが平成30年度は過去最高の17万人を超えた。市制60周年記念事業として著名なアーティストの公演、美術展を開催したことにより、今まで足を運んだことのない新たな利用者を獲得した。					
	2019年度	年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業の多くが延期・中止となり利用者数の伸びがなかった。この影響は翌年度も続くと考えられる。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として4月、5月が臨時閉館となったことに加え、6月以降も収容人数の制限等感染防止対策をとりながらの開館となったため、貸館事業及び主催事業は大きな影響を受け、利用者数は大幅に減少した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は例年の1/3程度にとどまったが、これまでに得たノウハウを活かし様々な試みにより前年度よりは微増した。					
	2022年度	コロナ禍ではあるが利用者は回復傾向にある。					
柱4 2	音楽祭・芸能祭参加団体数	56	53	55	—	—	30
		60	88.33	91.67	—	—	50.00
変動要因等	2018年度	直近5年間で見て、参加団体数はほぼ横ばいで推移。市民活動における発表の場として定着している。市民自らによる運営を支援。					
	2019年度	直近5年間で見て、参加団体数はほぼ横ばいで推移。市民活動における発表の場として定着している。市民自らによる運営を支援。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
	2022年度	一定時間ごとに会場内の換気、消毒を実施する等、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら3年ぶりに開催することができた。しかし、活動を自粛している団体もあり、コロナ以前に比べて参加団体数は減少となった。					
柱4 3	芸術祭(作品展示)出品点数	758	750	740	—	334	380
		900	83.33	82.22	—	37.11	42.22
変動要因等	2018年度	高齢化等による団体の解散により出品数は減少傾向。個人出品呼びかけとともに芸術祭自体の運営を見直していく。					
	2019年度	高齢化等による団体の解散により出品数は減少傾向。個人出品呼びかけとともに芸術祭自体の運営を見直していく。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品の搬入・排出を工夫し、2年ぶりに作品展示を実施できた。飲食・体験コーナーが設置できなかったことで来場者はコロナ以前よりも減少となった。					
	2022年度	昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品の搬入・搬出を工夫しながら実施し、前年度比出品点数は増加した。飲食・体験コーナーが設置できなかったことで来場者はコロナ以前に比べて減少となった。					
柱5 1	音楽祭・芸能祭参加団体数	56	53	55	—	—	30
		60	88.33	91.67	—	—	50.00
変動要因等	2018年度	直近5年間で見て、参加団体数はほぼ横ばいで推移。市民活動における発表の場として定着している。市民自らによる運営を支援。					
	2019年度	直近5年間で見て、参加団体数はほぼ横ばいで推移。市民活動における発表の場として定着している。市民自らによる運営を支援。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
	2022年度	一定時間ごとに会場内の換気、消毒を実施する等、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら3年ぶりに開催することができた。しかし、活動を自粛している団体もあり、コロナ以前に比べて参加団体数は減少となった。					
柱5 2	芸術祭(作品展示)出品点数	758	750	740	—	334	380
		900	0.83	0.82	—	0.37	0.42
変動要因等	2018年度	高齢化等による団体の解散により出品数は減少傾向。個人出品呼びかけとともに芸術祭自体の運営を見直していく。					
	2019年度	高齢化等による団体の解散により出品数は減少傾向。個人出品呼びかけとともに芸術祭自体の運営を見直していく。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品の搬入・排出を工夫し、2年ぶりに作品展示を実施できた。飲食・体験コーナーが設置できなかったことで来場者はコロナ以前よりも減少となった。					
	2022年度	昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品の搬入・搬出を工夫しながら実施し、前年度比出品点数は増加した。飲食・体験コーナーが設置できなかったことで来場者はコロナ以前に比べて減少となった。					

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進	体系番号	0201020301
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱5 3	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数	148,734	171,331	141,677	48,257	55,375	91,120
		150,000	114.22	94.45	32.17	36.92	60.75
変動要因等	2018年度	平成26年度から14万人台で推移していたが平成30年度は過去最高の17万人を超えとなった。市制60周年記念事業として著名なアーティストの公演、美術展を開催したことにより、今まで足を運んだことのない新たな利用者を獲得した。					
	2019年度	年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業の多くが延期・中止となり利用者数の伸びがなかった。この影響は翌年度も続くと考えられる。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として4月、5月が臨時閉館となったことに加え、6月以降も収容人数の制限等感染防止対策をとりながらの開館となったため、貸館事業及び主催事業は大きな影響を受け、利用者数は大幅に減少した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は例年の1/3程度にとどまったが、これまでに得たノウハウを活かし様々な試みにより前年度よりは微増した。					
	2022年度	コロナ禍ではあるが利用者は回復傾向にある。					

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進	体系番号	0201020301
		主管課	生涯学習課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	230,486,788	224,669,274 0.97	226,016,333 1.01	240,249,564 1.06	261,831,680 1.09
	うち一財(円)	223,969,022	216,697,465 0.97	210,355,474 0.97	236,026,797 1.12	253,278,929 1.07
	増減理由 (一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)					市民館費の内工事請負費が前年より多かつたため
進捗評価		おおむね順調	おおむね順調	やや遅れている	やや遅れている	おおむね順調
総合評価	主な取組内容や成果	60周年記念事業等著名な公演や美術展を実施し、市民館の入場者数は過去最高の17万人超えとなった。今まで足を運んだことのない市民に鑑賞の機会を提供し、文化意識の向上も図られた。また、協働による芸術環境づくりが評価され、地域創造大賞(総務大臣表彰)を受賞し広く存在を示した。	市民館、中央公民館とともに、市民それぞれの目的に応じた文化芸術活動の拠点として各種事業が実施され、たくさんの市民に利用された。しかし、年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業の多くが延期・中止となり最終的には利用者数が伸びなかった。	コロナ感染症の影響を大きく受け各施設の来館者数は減少したが、オンラインの活用や参加者の制限により新たな手法で事業を展開し、新規利用者の幅を広げることができた。来年度、市民館中長期改修計画を基本とした、舞台特殊設備更新工事と機械設備二次劣化診断を実施する予算をつけることができた。	コロナ感染症を見据えた事業展開を図る必要があり、例年に比べ集客の見込める催事は少なかったが、市民の実行委員会や関係団体との連携、オンラインの活用により実施できた事業も多々あった。また、芸術祭作品展など鑑賞型の事業は工夫することにより実施も可能となった。施設修繕については各施設対応を進めている。	(R4評価)市民館ではメジャーアーティストのライブを開催、公民館活動においては、3年ぶりにホールでの発表等の事業を実施、学校における巡回公演も回数を増やすことにより実施することができた。茅野市HPに「文化芸術に関する情報」を立ち上げた。(総括評価)誰もが文化的で充実した生活を送ることができるよう、工夫による活動の推進と環境整備を進めることができた。
	課題	特別な催事や新たな取組に対しては多くの参加者が得られたが、芸術祭など長く継続している取組は高齢化による団体の解散や参加者の減少が課題となっている。市民館は施設・設備の経年劣化と耐用年数の到来が迫り、計画的な改修が必要。	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術活動や施設の制限が余儀なくされるなど、次年度は厳しい状況が予測される。地域にとっても不可欠な文化・芸術を絶やさぬよう新しい生活様式に沿った事業展開が求められる。市民館は施設・設備の経年劣化と耐用年数の到来が迫り、計画的な改修が必要。	オンラインの活用によりこれまでと違う取組ができる施設と十分な環境が整っていないため従来どおりの方法でしか対応できない施設がある。又、利用者の特性(年齢層など)でも事業展開が異なり、コロナ対応が壁になる場合もある。市民館舞台特殊設備更新工事等を計画通り実施するため関係者との調整が必要。	公民館使用団体の高齢化や、コロナ自粛により活動の縮小が顕著となっている。併せて、公民館地区事業の停滞が続いている。市民館舞台特殊設備更新工事関係が、半導体不足による遅れが生じているため今後も調整が必要である。	(R4評価・総括評価)新型コロナウイルス感染症による活動制限は緩和されているが、コロナ禍で停滞してしまった活動を元に戻すことが課題となっている。ロシアのウクライナ侵攻に端を発した物価上昇に伴うエネルギー価格の高騰により、市民館の経営面において不測の事態が生じている。
改革・改善	改革・改善内容	地域に文化の種を蒔く事業と一般的に楽しめる事業の両方をバランスよく実施するよう指定管理者と情報共有し連携を図っていく。また、芸術文化協会(公民館)とサポートC(市民館)の連携を支援する。市民館中長期改修計画をもとに劣化状況の把握(点検)と更新工事を実施していく。	地域に文化の種を蒔く事業と一般的に楽しめる事業の両方をバランスよく実施するよう指定管理者と情報共有し連携を図っていく。また、芸術文化協会(公民館)とサポートC(市民館)の連携を支援する。市民館中長期改修計画をもとに劣化状況の把握(点検)と更新工事を実施していく。	コロナ禍においては、対面式とオンラインの併用により更に活動の幅を広げるよう各方面からの支援を検討していきたい。また、関係団体との連携を図っていく必要がある。市民館機械設備二次劣化診断の実施により、今後必要となる改修及び更新工事について関係部署と調整していく。	withコロナ、afterコロナに向け対面式とオンラインの併用により更に活動の幅を広げるよう各方面からの支援を検討していきたい。なお一層、関係団体との連携を図っていく必要がある。	(R4評価・総括評価)停滞してしまった活動を元に戻していくため、社会教育関係団体の活動支援策を検討する。市民館の管理運営について精査し、見直しを図る。自主事業においては、収益につながる新しい事業などの検討も必要。
	重点化する施策の柱	3	3	3	3	3
	重点事務事業	1	1	1	1	1
理由	市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。	市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。	市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。	市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。	市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。	